

第42回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの人は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第42回「あいおの会」

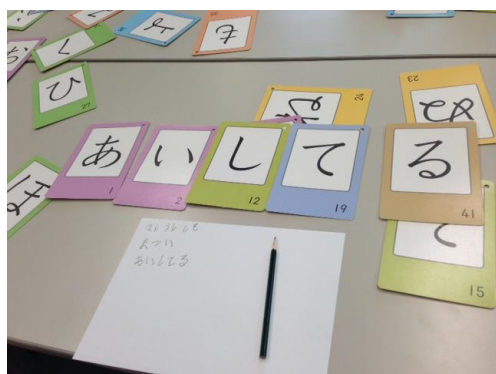
平成26年8月3日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、失語症患者様5名とご家族様3名、言語聴覚士7名が参加し15名の方々が集まりました。いつもと場所が異なりましたが、皆さんお変わりなく、にこやかに始まりました。

今回は、仮名並べゲームと音当てクイズの2つを行いました。仮名並べゲームは難しかったですが、ヒントを上手に使って思い思いの単語をたくさん作りました。音当てクイズは何の音か当ててもらうゲームをしましたが、夏にちなんだものが多く皆さん大正解でした。ただ、音を聞いて何かを当てることは、言葉が思い出しにくく難しかったですね。

お茶菓子は水ようかんとアイスコーヒー。夏らしく涼やかな物をご用意しました！

最後にはさわやかに「汽車」「みかんの花咲く丘」を歌いました♪

次回は平成26年10月5日(日)13時から、国際医療福祉大学熱海病院 地下会議室で行います。



ひらがなを並べて、単語を作りました。



遠くの文字も見つかりましたか～？